

朝日寺だより

新年を迎えて

住職 若松隆英



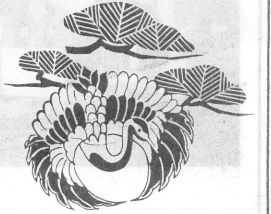
檀信徒の皆様明けましておめでとうございませう。旧年中は朝日寺護持の為に一方ならぬご協力をいただきました。為にございませう。客殿修復六ヶ年計画寄附金も予定通り進んでおります。四国八十八ヶ所お砂踏石の方も目標を上回る寄附金が集まりました。誠に有難うございます。

行事としては一月十五日に四国八十八ヶ所お砂踏並びに大護摩供養、春・秋に四国八十八ヶ所巡りをいたしました。それぞれ多くの方のご参加をいただきました。今年も皆様方のご参加を得て賑やかな行事が出来ればと思っております。

さて、昨年の世界を振り返りますと、米ソの融和、東ヨーロッパ諸国の民主化と、明るい方向で幕が開きました。八月にはイラクのクウェート侵攻という驚くべき出来事が起こりました。おまけに多数の人間がとられ、日本人も例外ではありませんでした。結局全員が解放されましたが、人質になった人達は恐怖の極限を体験された訳ですが、平和で豊かな日本に住む私達も平和という事の有難さ、自由というものが何ものにも代え難いものである事を実感致しました。

昨年は私達の住む地域が全国的に話題になった年でもありました。一つは錦海塩田跡地への放射性物質の投棄、もう一つは九月の大雨による被害です。大雨で寺の裏山が崩れ土砂の一部が建物に寄りかかった状態です。檀信徒の方々の中にも被害にあわれた方がおられます。心からお見舞い申し上げます。医学の方へ目を転じますと、臓器移植が話題になり、脳死が問題になり、従来の医学の領域だけでは解決出来ない事が起きてきています。又、病気の快癒にも精神的な面がより強調されるようになり、岡山にも「仏教と医療を考える会」が誕生し、医学と仏教の接点がお医者さんと私達僧侶とで真剣に話し合われる様にな

英会 印刷
隆代 印刷
松山 印刷
若松 印刷
若松 印刷



りました。末期のガン患者の人達をつれてヨーロッパのモンブランという山に登った「生きがい療法」を唱える倉敷の柴田病院の院長である柴田高志先生が次の様な事を言われてました。「ただ体力を使わない様にしようとしているよりも、しんどい事でも目標を持って身体を動かした方がよい結果を得る事がある。人の役に立っていることと実感する事がある。人を支える。患者さんに無財の七施をよく話すんだ」と。

無財の七施とは、(一)やさしいまなざし、(二)なごやかな顔、(三)あたたかい言葉、(四)身体への奉仕、(五)慈愛のこもった心、(六)ゆずり合いの気持、(七)便宜の提供、です。

これならいつでも、どこでも実行出来るに喜んでもらっていると感ずる事が、健康的な生活を送る事につながるのではないのでしょうか。

明けてお目出度うございませう。謹んで年頭のご挨拶申し上げます。昨年は台風十九号と言う集中豪雨に見舞われた方が多いと思います。心からお見舞い申し上げます。朝日寺におきましても裏山が崩れ、庫裡によりかかり、被害を受けました。早速町の方へ連絡しお願ひいたしました所、幸いにして県、町からの被害調査もして戴き、災害救助法の認定を受けて下される事になり、経費も負担金程度で復旧出来ることになりました。



誠心 朝日寺所有

年頭のご挨拶

総代長 島岡 篤

明けてお目出度うございませう。謹んで年頭のご挨拶申し上げます。昨年は台風十九号と言う集中豪雨に見舞われた方が多いと思います。心からお見舞い申し上げます。朝日寺におきましても裏山が崩れ、庫裡によりかかり、被害を受けました。早速町の方へ連絡しお願ひいたしました所、幸いにして県、町からの被害調査もして戴き、災害救助法の認定を受けて下される事になり、経費も負担金程度で復旧出来ることになりました。

厚くお礼申し上げます。

昨年は、台風十九号と言う有難くない来訪者によって、邑久町は多大な被害を受けてしまいました。被害を受けられた方々には、心より、お見舞い申し上げます。砂踏の工事、計画通りに行かなくなり大変に残念なことです。一日も早い、完成をお祈りして居ります。本年は、私も健康面では十分に気を付け、皆様に御迷惑をかける様な事に致したいと思いません。お砂踏の工事の完成も見込まれます。そして例年通りの花まつり、人形供養、霊場巡拝という行事がございませう。どうぞ皆様、お揃いでございませう。最後になりましたが、皆様方の御健康と、御多幸御活躍をお祈りして、私の御挨拶とさせていただきます。

朝日寺との出会い

八王子 神坂定子

人生には幾つもの出会いがある。亡き主人との出合いで岡山の地を踏み、又其の縁で朝日寺を知る事になった。私が最初に訪れたのは、主人の父が亡くなって母も兄の許へ移って後だから、十年以上前であろうか、小春日の暖かい日で本堂の中庭の築山の色づいた木々に午後の日射しが映えて美しく、床の見事な大きな花瓶に柿の実をつけた投入が見事に生かされた。原田泰治の絵になるような所ね」と言ったのを憶えている。住持様が交通事故に遇われ九死に一生を得たお話を伺い私達も主人が胃の手術をした事など話した。朝日寺の御本尊が薬師如来と伺って参詣しお礼を申し上げた。其の折住持様が「故郷へ帰ったつもりでゆっくりしていらつしや」と大変暖かいお持て成しを受けた。私はこの温暖な気候と美しい景色、人情味豊かなこの地に大変魅せられていたので、住持様の言葉が嬉しく感激した。それ以来この地に暮らす折には、まづお薬師様に参詣し皆様の御元氣な姿に接し、両親の本家に寄つて墓参をすませ、大阪・京都の社寺、仏像を見学し八王子へ帰るのが十年來の私達の楽しみだった。それが五月だった。二・三日の患いで主人が儼然と世を去った。何の心の準備もないまま、訪れた死の悲しみに必死に耐えて、戸惑う事なく葬送の儀は朝日寺にお願ひしようとした。遠方にも拘らず老師様・住職様お二人がお越し下さって主人の霊を弔うて下さった。どんなに有難く思ひ主人も安らかに冥土へ旅立が出来たのではないだろうか。葬送の後お電話をしてお祈りしなさいとテープとお大師様の掛軸を送って下さった。本当に恥ずかしい話だが今までおかんきと言葉さえ判らな

った私だったので住持様にお尋ねして教えて頂き般若心経の本を貸して頂いた。少しづつ読んでいくが、味香くさくさしく人間歩むべき道を理解し易いようにつけてありとても良い本の中に真言密教の事が随所に書かれていて、人の死に直面し悲しみに打ちひしがれた時写経に専念し、朝夕勤行に励み一心に光明真言を唱える場面が沢山出てくるが、物語とは言え本當に其の心情、物のあわれ、命の儚さを感じそれ故に生命の尊さがある。

四国八十八ヶ所霊場巡拝

四国八十八ヶ所巡りも昨年十月二周目を回り終える事が出来た。あとは今年三月の高野山参りを残すのみである。足かけ四年、日数にして十三日(二泊三日が

四回、日帰り一回)の旅であった。瀬戸大橋が完成し、舗装された道路が整ったとはいえ、十三日で八十八ヶ所を回る事裏面に続く

